

◇ある先生との再会を機に20年ぶりに再び編集委員を仰せつかることとなりました。前に委員を務めたのは本会に入会してから20年経過した頃でしたので、20年おきに本誌は小職を初心に戻してくれます。

◇学生時代、研究室配属になってすぐの頃、ここは勝手に見ていいからねと言われた指導教官の書架に整然と並べられた本誌は、まだ論文が読解できなかった小職にも比較的読みやすい構成と内容で、先人の叡智に触れられて少なからず興奮したものでした。当時は冊子体でしたので目的とする記事の前後をチラ見するのも当然で、あちこち読み始めると止まらなくなる、ありがたい雑誌でした。

そんな思い出を残してくれた本誌ですが、これからどう作り上げていくのがよいのか、小職の気持ちは完全に暗礁に乗り上げています。広く関係の皆様と議論できればと考えていますが、リモート会議ばかりでは…困。

◇新年早々、風邪をこじらせ肺炎になりました。年齢に加え温暖化による気候の急変に追従できなくなっているようで、編集後記を書いている今日は今季最長寒波と騒がれている最中です。当該地域の皆様、くれぐれも事故、怪我にはご注意を。

どなたも年度末に向けてご多忙の毎日をお過ごしのことと思いますが、忙しくても文字通りに心を亡くさないように、ご自愛なさってください。

皆様の益々のご発展を祈念しております。 [S.Y.]

「ぶんせき」次号掲載予定

〈とびら〉

生成AIを使わない「至宝の時間」を大切に

木村-須田廣美

〈入門講座〉 精密な定量解析を支える網羅分析：基礎技術から実践的応用まで

X線の網羅分析への使用事例 阿部善也

〈講義〉

安定同位体比質量分析の基礎 原 拓治

〈ミニファイル〉 Abbreviations in 分析化学 (分析化学で使われる略号)

キャピラリー電気泳動に関連する略号 宮部 寛志

〈話題〉

植物細胞の蛍光イメージング 山田 幸司

◇編集委員◇

〈委員長〉 四宮一総 (日本大学)

〈副委員長〉 稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)

〈理事〉 山口 央 (茨城大理)

〈幹事〉 糧野潤 (龍谷大先端理工)

原賀智子 (日本原子力研究開発機構)

〈委員〉 石橋千英 (愛媛大院理工)

北牧祐子 (産業技術総合研究所)

鹿籠康行 (東北大金属材料研究所)

原田誠 (東京科学大理学院化学)

山口浩輝 (味の素)

高橋 豊 (エムエスソリューションズ)

上田忠治 (高知大農林海洋科学)

久保田哲央 (アシstant:テクノロジー)

橋本 剛 (上智大理工)

岡崎琢也 (工学院大先進工)

岡林識起 (日大生物資源科学)

坂真智子 (株)エスコ

佐藤惇志 (株)ライオン

角田誠 (東大院薬)

西崎雄三 (東洋大食環境科学)

半田友衣子 (埼玉大工)

村山周平 (昭和医科大薬)

三原義広 (北海道科学大薬)

大江知行 (東北大院薬)

勝又英之 (三重大院工)

萩森政頼 (武庫川女子大薬)

高橋幸奈 (九大カーボンニュートラル)

R 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2026年 第2号 (通巻614)

2026年2月1日印刷

2026年2月5日発行

定価 1,250円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11
株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会
電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351
編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2026, The Japan Society for Analytical Chemistry
購読料は会費に含まれています。